



荒川区議会 6月会議が始まりました

西日暮里駅前再開発計画は中止、再検討へ

通年会議をとる荒川区議会では6月会議が開かれています。本会議のなかで西日暮里駅前再開発についての質問がありました。区はコロナ禍のもと「計画を中止せざるを得ない。代替案の検討に入る。」と明らかにしました。ただし「三河島北地区開発」は続けていくとのことでした。



西日暮里駅前再開発計画に対しては区民や利権者から賛否ともに多数の陳情が区に提出されていました。大小

ホールで190億円、区の税金で160億円を投入しての西日暮里ホール建設は、計画当初より日本共産党は反対してきました。コロナの影響で今後、区の財政が厳しくなるのは必至です。今必要なのは、大手企業が潤う大型開発ではなく、苦しむ区民の声を聴き、寄り添い、生活や経営を支えることです。再開発事業は抜本的な見直しが必要です。

6月24日(水)には日本共産党区議団の横山幸次議員、斉藤邦子議員が質問に立ち、コロナ禍のもと区の姿勢を正しました。30日には私の所属する総務企画委員会の審議も行われました。内容詳細は改めてお知らせいたします。

特別低額給付金(ひとり10万円)の支給は60%以上

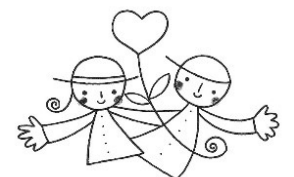
報道でもありましたように、特別給付金の荒川区内の銀行振り込みは60%を超えました。銀行へ通帳記帳に行ってもまだ入金がないとの声や、お問い合わせも度々いただいています。すみません。もう少しお待ちください。

荒川区では添付書類のない申請が5,000件ほどあったとのこと。符合できるようバーコードを付けて再申請の書類を郵送で送り、もう一度返送してもらいます。また、署名や申請合計数の間違いなどは電話で確認し、大丈夫なら職員が訂正して手続きに回します。

申請方法	件数
オンライン申請	4,500
特例郵送申請	7,500
郵送通常申請	94,000
合計	106,000
(6月30日現在)	

<申請から振込までの手順は・・・>

1. 郵便局から申請書が担当部署に届く(特に6月の第1週は毎日大量だったとのこと)
2. セントラルビル内の事務所で、委託会社から送られてきた申請書と添付書類を1件ごとクリアファイルに入れる
3. 1件ずつ申込書と添付書類が同一画面になるようにスキャンする
4. データを委託会社に送り、1件ずつ間違いがないか点検する
5. 間違いがないと確認できたデータが荒川区に送られてくる
6. 区の担当職員が振込データを各銀行に送る
7. 銀行口座に入金



区内介護老人保健施設で新型コロナ感染者

荒川区内の介護老人保健施設ひぐらしの里で入所者の新型コロナウイルス感染がありました。感染経路や拡大状況等については、調査中です。東京都が発表した荒川区内の感染者数は6月29日現在で90名です。

台東区の永寿総合病院の集団感染は感染者131人、職員83名の214名でした。荒川区民はそのうち20名でした。厚生労働省のクラスター班の4月調査報告書では、休憩

室・食堂など密に過ごす空間での感染拡大・コロナを疑うタイミングの遅れ、病棟の構造上の問題、病棟間の移動などが指摘されています。永寿総合病院の経験を教訓に、早急に対応策を講じることが求められます。

荒川区は東京都と当該施設と連携して必要な対応を進めています。経緯を裏ページにてお知らせします。



<区内介護老人保健施設での新型コロナウイルス感染に係る経緯>

- ◆ 6月27日 体調悪い方が5名
- ◆ 90代女性1名が病院入院、PCR検査で陽性と判明
- ◆ 6月28日4名(90代男性1名、70代男性1名、80代女性2名)が検査で陽性、28日に入院
- ◆ 6月30日保健所が現地調査
- ◆ 7月1日7名(90代女性2名男性1名、80代女性2名、70代男性1名、施設職員30代女性1名)が検査で陽性
- ◆ 6月27日荒川区から防護服やガウン、マスク、フェイスシールドなど必要な衛生資機材を提供
- ◆ 今後、同じフロアの入所者、保健施設と医療施設のスタッフ全員のPCR検査を実施する
- ◆ 当面、通所リハと訪問リハは休止。関川病院の新規入院と外来も当面休止

7月1日からコンビニもレジ袋が有料に

7月1日からコンビニやデパートもレジ袋(プラスチック製買物袋)が有料になりました。1日にコンビニに立ち寄る機会がありました。購入した商品をレジのスタッフの方が持参したマイバッグに入れてあげたり、お客様自身が商品を入れていたり、なかなかペースをつかめないようでした。これからの季節、マイバッグを衛生的に保つことも気を付けないといけませんね。



レジ袋は便利ですが、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題があります。プラスチックの使い過ぎを考え直さなくてはなりません。私もエコバッグを持ち歩くように心がけています。

一方で環境対応素材、植物由来・バイオマス素材の配合率が25%以上のレジ袋は無料で渡せるため、外食産業を中心に、バイオマス素材入りのレジ袋へ切り替えて、有料化を回避する動きもあります。

レジ袋削減にご協力ください

レジ袋有料化 2020年7月1日スタート

消費者向け レジ袋有料化お問合せ窓口
TEL 0570-080180

財務省 厚生労働省 MAFF 経済産業省 環境省



街の声

★この時期に草が茂り、歩道にはみ出してしまう箇所があります。通行しづらいと昨年も住民からお声をいただきました。今年も同様です。区の担当部署に依頼して、7月中に草刈りをしてもらうことになりました。毎年のことですが、雑草の力強さに驚かされます。



★国の第2次補正予算で、雇用調整給付金の個人申請ができるようになりました。早速申請したいとの声をいただき、申請方法を確認すべく、足立ハローワークに問い合わせました。電話もつながりづらく、やっと受付につながりましたが、「まだ厚生労働省から具体的な指示が来ていないので、しばらくお待ちください。」とのことでした。家賃支援給付金も、少し時間が必要なようです。

★飲食店店主から、持続化給付金が受けられるかどうか知りたいとの声があり、これまでの売り上げを見せてもらいました。コロナ禍でも何とか営業を続け、前年比で60%ほどの売り上げを保っていました。頑張っ売り上げを上げたのに、売り上げが半減しないと持続化給付金はもらえません。6、7月の売り上げを確認してみようということになりました。売り上げは落ちているけれど半減していないから申請できない。この状況は本当によく聞きます。何とかしなくては。

定例★法律相談

TEL&FAX:03-3894-6668

日時:7月17日(金) 18:30~20:00

会場:北村あや子事務所

くらし・仕事のお悩み・・・ひとりで悩まず、ご相談ください。
弁護士と北村が相談をお受けします。
お急ぎの場合は、法律事務所の相談日をご紹介します。
3密を避けるため、まずは電話でご連絡ください。

